

## 第9款 消防費

### 項1 消防費

#### 主要データ

#### ① 火災発生件数の推移

区分	平成20年度	平成19年度	平成18年度
火災発生件数	17件	21件	22件
うち建物火災	6件	11件	13件

#### ② 救急車出動件数の推移

区分	平成20年度	平成19年度	平成18年度
救急車出動件数	1,858件	1,970件	2,091件

### 目1 常備消防費

#### 1 消防本部署活動経費

予算額	44,458	決算額	40,000
-----	--------	-----	--------

#### ① 防火管理体制の強化

・地域住民と事業所等の連携による防火管理体制の強化に努めた。

消防訓練の実施 176回 14,680人参加

#### ② 防火思想の普及

・市民の防火、防災意識の高揚を図るための講習会や広報活動を強化するとともに地域、事業所の火災予防の普及啓発に努めた。

防火懇談会 4回 145人参加

防火映画上映 4回 879人参加

・事業所等における防火管理の知識、技術の向上を図るための防火管理講習会を実施した。

防火管理講習会 1回 44人参加

・住宅火災による死傷者数の低減を図るため「住宅用火災警報器」の義務化により住宅への設置普及に努めた。

#### ③ 防火査察の徹底

・防火対象物の査察を実施し、火災予防上必要な指導に努めた。

指定防火対象物 2,750件 うち改善指導 79件

・危険物施設への立入検査を通じ技術水準の適合性について安全指導に努めた。

危険物施設 267件 うち改善指導 7件

・災害時要援護者を災害から守るため、一人暮らし等の高齢者査察を実施した。

区分	平成20年度	平成19年度	平成18年度
高齢者世帯	0	2,976	2,780
緊急通報システム世帯	196	203	212

※高齢者世帯～75歳以上の夫婦及び70歳以上独居世帯

※これまで行っていた高齢者世帯査察は、住民基本台帳のデータを基に進めてまいりましたが、広域化による共同電算システムが導入されたことから、当該査察に伴うデータの収集が困難となり、次年度に実施を見送った。

2 消防学校派遣経費

章	—	節	—	施策	—
---	---	---	---	----	---

予算額	766	決算額	749
-----	-----	-----	-----

消防職員として、基礎的及び専門的な知識を取得し消防業務を効率的に遂行するため消防学校に職員を派遣した。

3 消防用機器整備事業費

章	1	節	2	施策	3
---	---	---	---	----	---

予算額	1,250	決算額	1,208
-----	-------	-----	-------

① 自動体外式除細動器購入

・救急車が出動中で、直ぐに現場に到着できない時に、消防車等で現場に駆けつけ傷病者の救命処置を行うため、自動体外式除細動器を購入し支署に配置した。

② ガス検知器の更新

・経年劣化したガス検知器を、安全管理を図るため更新した。

③ 自記温度湿度計の更新

・老朽化のため誤作動し、記録に不適正が生じる温度湿度計を更新した。

4 消防施設等整備基金積立金

章	2	節	3	施策	2
---	---	---	---	----	---

予算額	14,330	決算額	14,330
-----	--------	-----	--------

消防施設の整備に伴う財政的負担の軽減を図るため、北海道から交付される石油貯蔵施設立地対策等交付金を積み立てた。

目2 非常備消防費

1 消防団運営経費

章	2	節	3	施策	2
---	---	---	---	----	---

予算額	20,159	決算額	18,933
-----	--------	-----	--------

○団員数の推移

区 分	平成20年度	平成19年度	平成18年度
消防団条例による団員定数	191	191	191
団 員 数（年度末現在）	146	142	135
うち女性団員数	13	13	11
定 員 充 足 率（％）	76.4	74.3	70.6
平 均 年 齢	42.3	42.3	43.1
入 団 者 数	15	16	10
退 団 者 数	11	9	17

消防団員を確保するため、入団促進の募集活動を行った。

○消防団活動にかかる出動人数

区 分	平成20年度	平成19年度	平成18年度
火 災	92	141	171
警 戒	789	771	771
訓 練	1,641	1,472	1,553
計	2,522	2,384	2,495

目3 消防施設費

1 消防施設等維持補修経費

章	2	節	3	施策	2
---	---	---	---	----	---

予算額	7,938	決算額	5,081
-----	-------	-----	-------

消防施設の安全衛生・効率的な業務の推進及び施設の延命を図るため維持補修を行った。

※ 事業内容 消防施設等維持補修、消火栓修理

2 鷺別支署暖房設備改修事業費

章	—	節	—	施策	—
---	---	---	---	----	---

予算額	3,300	決算額	3,192
-----	-------	-----	-------

暖房・給湯ボイラーや配管が経年劣化したため、ストーブによる個別暖房に切替を行った。